

直木孝次郎・鈴木重治編

『世界遺産 平城宮跡を考える』

～考古学・歴史学・地質学・環境論・交通論から～

二〇〇一年一月に、木簡学会を含め計一九の学会・団体が実行委員会を組織して開催した「高速道路計画で危機を迎えた世界遺産平城宮跡を考える」シンポジウムの記録が刊行された。内容は以下の通り。

平城宮地下高速道路問題について考える―開会にあたって―
(甘粕健)、古代史研究と平城木簡(佐藤宗諱)、聖武天皇と四都(小笠原好彦)、平城宮跡とユネスコ・世界遺産条約(野口英雄)、世界遺産古都奈良の文化財を大気汚染からまもる(西山要一)、奈良市内のト真ん中に超高速道路が必要か(小井修一)、平城宮と木簡(寺崎保広)、パネルディスカッション「世界遺産・平城宮跡の保全と活用をめぐって」

実行委員会の構成団体の一つでもある平城京を守る会が二〇〇一年一〇月に行なった「守ろう世界遺産・平城宮跡の集い」の記録、及び今回の平城宮跡保存に向けての活動の記録(各学会・団体の要望書・声明など、及び年表)を併載している。

四六判並製三六八頁 カラー図版四頁 図表・写真一〇五点
本体価格二、五〇〇円＋税

(株)ケイ・アイ・メディア刊

〒三四四一〇〇六七 埼玉県春日部市中央四一九一三八

電話〇四八七六〇一八〇八 FAX〇四八七六〇一八〇九